

シグマ研究委員会崩壊熱評価W.G.サブ・グループ会合議事録

日 時 昭和53年7月7日(金) 10:30～17:00
場 所 原研(東海)
出席者 村田(NAIG), 松本(原研), 山本(東北大), 中嶋(法政大)

議 題

1. 計算機プログラム PROFPD (山本)

ガンマおよびベータの平均エネルギー, およびそれらのスペクトルを計算するプログラム PROFPD のプログラム・リスト, および ^{89}Rb についての計算例を資料として配布し, input format などを説明した。

input の際に注意すべきことは, エネルギーや強度に誤差が与えられていない場合には, assumed error を%で入れる。システムティクスの研究やデータの矛盾がないことをチェックするための諸量も output するので便利である。

2. PROFPD の input data sheet 記入について

この種作業のためのアルバイト費がある, ということを知ったので, 単価計算の資料を作成した。その結果,

評価データ3頁を記入するのに約2.5時間かかり data sheet 10頁(カード200枚)。推定される全体の量は, 評価データ約500頁(data sheet 約1700頁)。これらの資料を更田氏に渡して, 単価計算その他の事務的手続を検討して貰うことにした。

3. 評価データについて

さきに決定した重要核種を含んだ47 A-chains の中, 25 A-chains が評価済み。残りについては引続き作業を行なう。

問題は, 主として isomer decay の場合に多く, 今回は特に ^{90}Rb , ^{100}Nb および ^{132}Sb の場合について具体的に議論した。検討中に Rider and Meek の新しい yield データにも関係した困難が発見された。これら

の取扱いについては、更に検討することにした。

4. FPレベル・スキームについて

i) 24核種について JAERIと PNC との比較を行なった仕事は、JAERI
-Mレポートに投稿し、近日中に出来る予定。

ii) 飯島氏から依頼のあった核種のうち緊急度の高い13核種については、
村田、松本両氏が分担して Nuclear Data Sheetsを調べて working sheet
を作り始めることにした。

iii) 100核種のまとめについては、上記 ii)を優先させるので、もっと遅く
なる。

5. 次 回

アルバイトの交渉などの関係で未定だが、9月にそれぞれの結果をもち
よることとする。